

教科	科目	単位数	学年	集団
家庭	生活産業基礎	2	3	総合探究科（選択）

使用教科書	副教材等
生活産業基礎	なし

科目の目標
衣食住、保育、家庭看護や介護に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、生活産業や関連する職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	生活産業に関連する職業について体系的・系統的に理解し、関連する基礎的・基本的な技術を身に付けている。
②思考・判断・表現	生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活を担う職業人として合理的かつ創造的に解決しようとしている。
③主体的に学習に取り組む態度	生活産業に関する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	
①知識・技能：レポート・定期テスト、実技テスト、実習作品 ②思考・判断・表現：課題レポート、学習プリントの点検、実習作品、発表、定期テスト、口頭試問 ③主体的に学習に取り組む態度：グループワーク、課題レポート・実習作品、コンクール、発表、実習等の取り組み状況	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	(1)「生活産業」を学ぶにあたって (2)ライフスタイルの変化と生活産業 (3)ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供	第1章 「生活産業」を学ぶ 第2章 ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供	・職業人として働くことの社会的な意義や役割について理解している。 ・産業構造の変化について課題を発見し、生活産業を担う職業人としてその解決に向け考察することができる。 ・生活産業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、生活産業の更新や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
5	(4)生活産業と職業	第6章 ヒューマンサービス関連分野	・調べ学習や職業インタビューなどを通して、介護や保育等に関する様々なヒューマンサービス関連分野の資格や職業について興味・関心をもち、意義ややりがいについて考察し、レポートにまとめ発表することができる。	○	○	○
6		第3章 食生活関連分野	・食生活関連分野の職業人に必要な基礎的・基本的な技術を身に付け、進路実現に活かそうとしている。 ・食生活関連分野の資格や職業について興味・関心をもち、意義ややりがいについて理解し、地域の食生活の課題について考察し、レポートにまとめ発表することができる。	○ ○	○ ○	○ ○
7						

9			・食生活に関わる産業や国民健康・栄養調査などを基に、多様化する消費者ニーズや消費行動に対応した商品開発やサービスの事例について理解し、地域の食生活に関する課題を考察し、レポートにまとめ発表することができる。	○	○	○
10		第4章 衣生活関連分野	・衣生活分野に関する職業人として必要な基礎的・基本的な技術を身に付け、進路実現に活かそうとしている。 ・衣生活分野に関する職業や日本の伝統産業の現状を理解し、持続可能な衣生活産業の在り方について考察し、実習作品やレポートにまとめ発表することができる。	○ ○	○ ○	○ ○
11						
12						
1	(5)職業生活と自己実現	第7章 なりたい自分になるために	・生活産業の意義ややりがいを理解し、生活産業のスペシャリストとして社会に貢献するために必要な将来設計や課題について考察し、将来に活かそうとしている。	○	○	○
2						
3						